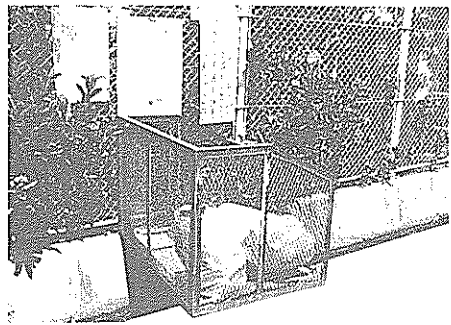


市民の声

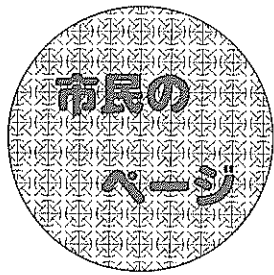
大篠公民館前の

ごみステーションについて



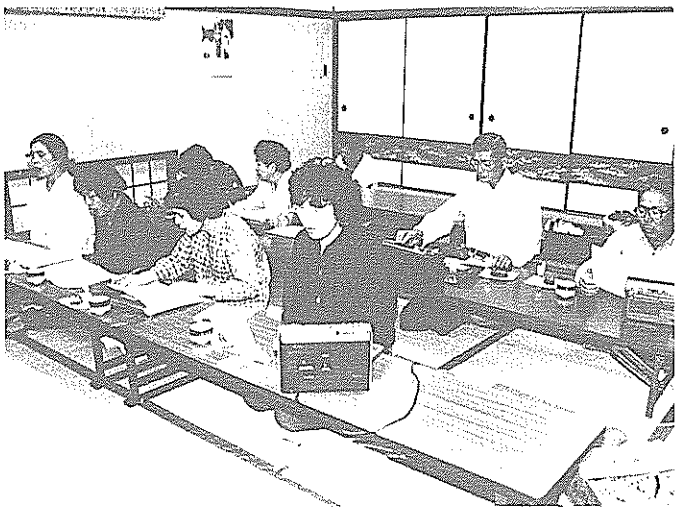
他不燃物」がいつも集積され、絶えることがない。夏は悪臭を放ち、はえの絶好の場所でもあり、また放し飼いの犬の遊び場ともなって環境を阻害している。

ここは、ご承知のように南国市の中央公民館、体育館、また大篠小学校があつて、南国市の教育と文化の中心地である。環境の美化は他地区の範を示すべき場所であつてはならないが、このような状態にあることは、誠に残念な思いに耐えない。特に「ごみステーション」の前には大篠小学校があり、教育（情報）が作れるページです。どんなことでも結構です。お気軽に皆さんの「声」をお寄せください。



このページは市民の皆さんが作るページです。どんなことでも結構です。お気軽に皆さんの「声」をお寄せください。あて先は、南国市広報委員会（〒783 南国市大通甲1301）です。

われら サークル仲間 三味線に合わせて 民謡教室



中央公民館には二教室十一サークルがあり、文化祭への出展などいろいろな活動が行われています。年齢、職業はさまざまですが、それぞれサークル仲間の和が広がって、毎回楽しく受講している皆さん。その触れ合いの場を紹介しました。今回は民謡教室におじゃましました。

八後向くから未練が残る 残りゃ涙が先に立つ……毎週金曜日の午後七時、中央公民館の和室から三味線に合わせて各地の民謡が流れてきます。謡っているのは、岡田桂子さんら十三人の皆さん。民謡教室は、五年前に井上笑子さんから同好者が高知市から西山彰一さんを講師に迎えて開講。六年目を迎え、講師は奥さんの和枝さんに代わりましたが、拍手、出だしなどを教え合いながら調子を合せての練習、練習の合間合間の楽しいおしゃべりと、和気あいあいの二時間はいつもあつという間に過ぎてしまします。月に一曲ぐらいのペースで曲が変わり、「リラクセスして軽い気持ちでなっています。」という言葉とは裏腹に、録音機なども用意して皆さん一生懸命文化推進協議会の観桜会、清



Q & A

公職選挙法は

どう改正されたのですか

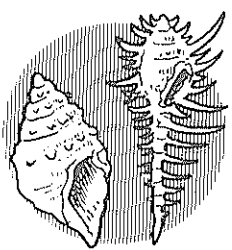


祭りの寄附

Q 公職選挙法が改正され、政治家の寄附行為などが制限されたようなのですが、政治家の範囲や制限にはどんなものがあるかなどを分かりやすく教えてください。

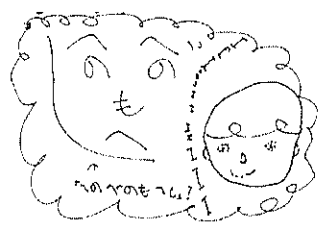
(匿名希望)

A 政治家の範囲 国会議員や地方公共団体等の国会議員、知事、市町村長などの候補者及び候補者になろうとする者 禁止行為 (1)政治家が、選挙区内の者に寄



附すること。ただし①本人が自ら出席して普通の社交の程度を越えない結婚披露宴の祝儀や葬式、通夜の香典②政党や親族に対する寄附③政治教育集会へのやむを得ない実費の補償(食事や食料の提供は禁止されています)は、罰則の対象から除かれます。

(2)政治家以外の者が、政治家名義の寄附をすること。 (3)有権者が政治家に対して、寄附を出すように勧誘や要求すること。 (4)政治家名義の寄附を求めること。 (5)政治家が、選挙区内の者に対して、香礼のための自筆のもの以外の年賀状、暑中見舞いなどの時候のあいさつ状(電報も含む)を出すこと。 (6)政治家や後援会が、選挙区内の者にあいさつを目的に、有料でマスコミ等に広告を出すこと。 (7)政治家や後援会に対して、あいさつを目的とする有料の広告を求めること。 (8)後援会が、花輪、供花、香典、祝儀等を出すこと。 (9)後援会の設立目的にそぐわない寄附を出すこと。 (10)不明の点は、選挙管理委員会事務局(☎☎2111内線440)までお尋ねください。 回覧町の筒井浩介君(12歳)が親子クイズの答えのハガキに書いてくれた作品です。



「寄付

ありがとうございます

川村美光(久礼田)

風園への慰問、東西南北回り舞台、おさらい会など、さまざまな活動をしています。教室生は「民謡」というのは作業歌なので、家事の合間にも口をうけて出てきます。民謡を身近に感じられ、手に取るように分かるのが大きな魅力です」と語っていました。

藤本茂樹広報委員長逝去

長年にわたり広報の充実に尽力



南国市広報委員長藤本茂樹氏(七十歳)が、病氣療養中のごとく六月十二日に逝去されました。

故藤本氏は、鉄工所を経営するがたわら、昭和三十五年の広報委員会設立当初から広報委員長として、また昭和五十九年十月からは故山本尚一委員長の後を引き継いで、広報委員長として活躍されてきました。この間、昭和四十八年四月からは月二回発行に踏み切るなど、

「市と市民を結ぶ」広報の充実に努め、自らも「鉄心」というペンネームで投稿。市民に親しまれる紙面作りに貢献されました。

一方、四十六年十二月に市教育委員、五十二年八月には教育委員長に就任。六十二年一月までの長期にわたり、市の教育の発展に努力。機械好きの「一口ケットさん」という愛称でその人柄は多くの人に親しまれていました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。 また、六月二十日は妻律子さんが、市役所を訪れ本市の教育に心をくだいた氏の遺志を生かしたいと市に寄付を寄せられました。